

地震報告

明治四十年 第一號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

二月五日午後二時十七分二十一秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

三秒十九秒

地震計ニ振ル

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微 人体ニ感ス

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

微 頂上上下動ノ痕跡ヲ有シ聲響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘシ

地震計觀測

初期微動 七秒

主要初動 五十二秒

後期微動 二分十九秒

是次振幅ハ主要動ノ中部ヲ經テ〇.三秒ヲ示ス

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地

地震報告

明治四十年 第二號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
						前項ニ洩タルモノヲ記入ス	
台北城内	二月六日午後一時二十五分四十三秒	六分七秒	不詳	微弱	人體ニ感ス	地動計觀測 初期微動 八秒 主要部 一分の九秒 修期微動 七分五秒 主要動中 最大振幅 〇・六センチメートル	國 郡 町 番地
					上下動ノ痕跡アリ有シ聲響有シ		

地震報告

明治四十年 第二號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

二月七日午前三時二分五十四秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

五分三十三秒

地震計ニ概シ

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微 人体ニ感ス

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動ノ痕跡ヲ有シ聲響ナシ

地震計観測

初動微動 十秒

主要動

一分〇秒

後動微動 二分三秒 主要動ノ最大振幅ハ〇.五五センチ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘシ

尚地震計ニ於テ午前三時七分三十分より三時十分二十秒ニ至ル
ニ分十二秒間甚ク微細シ方性急ニ地震動ヲ示セリ

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地

地震報告

明治二十一年 第 〇 號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

二月十二日午前四時六分三十九秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分五十秒
地震計ニ概ル

震動方向
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱ノ強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微 (人体ニ感覺アリ)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

微細ニ上下動ノ痕跡アリ有ニ聲響有ニ(性急)

雜記

前項ニ洩タルモノ
ノ入記

地震觀測

初期微動

九秒

主要動

二十二秒

後期微動

五十九秒

主要動ノ最大振幅

〇・五秒

尚地震ニ於テ午前ノ時止ニ三秒ヨリ今ノ時止ニ三秒ニ至ルニ
分同甚々細微ニシテ人性急ニ震動ヲ示セリ

報告者住所姓名

國

郡

町

番地



地震報告

明治四十年 第五號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

震動年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

二月十六日午前七時四十三分五十九秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分五十四秒

地動計ニ拠ル

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人休ニ感覚ナシ)

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

微弱ニ上下動ノ痕跡ヲ有シ声ノ響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモルヲ
記入スヘシ

地動計觀測

初期微動

十三秒

主要動

二十秒

終期微動

一分二十一秒

主要動ノ最大振幅ハ〇・二センチメートル

報告者住所姓名

國郡

村町

番地



地震報告

明治三十年 第六號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

二月二十三日 午前七時三十分至三十分

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

四秒四十分
地震計觀測所ニ於テ

震動方向
北北東、東、南東、南、
西、西北、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺アリ)

震動性質
水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動ノ痕跡アリ有シ聲響アリ性質急

雜記
前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘシ

地震計觀測所
初期微動十五秒 主要動 二十七秒
終期微動四十分 主要動ノ最大振幅二〇三センチ

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地

臺北府臺北
則侯所印

地震報告

明治四十年 第七號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

震動ノ年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

四十年三月一日午前二時二十八分二十秒

震動ノ時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

十一分〇秒

地動計ニ概ル

震動ノ方向

北北東、東、南東、南、
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人休ニ感覺アリ)

震動ノ性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動ノ痕跡アリ有シ聲響有シ性質急

雜記

前項ニ洩タルモノ
ノ入記スヘシ

地動計觀測

初期微動

十七秒

全主要動

四十六秒

第一主要動

二十三秒

第二主要動

十四秒

第三主要動

十一秒

最大振幅

第一主要動ノ始ニ於テ一四五度ヲ示ス

南佐野微動

供タルニ午前二時三十七分六秒アリ全二時三十九分二秒ニ至ル

ニ分十秒間ノ微震ヲ示セリ

報告者住所姓名

國郡

町

番地

測候所印

臺北總督府

地震

報告

明治四十年 第

八號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城内

年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

四十年三月廿九日午前七時十九分五十五秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

三十分十秒

地震計：概

震動方向

北北東、東、南、東南、南、西南、西、西北、北、八方位
ニ分記スヘシ

1

震動強弱

微弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体：感覺ナシ)

震動性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

急、上下動、聲響有ナシ

雜記

前項ニ洩シタルモノ
ノ入シヘス

報告者住所姓名

國

郡

町

番地



明治四十年 第一號

地名	震動ノ年月日	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質
	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、壁響ノ有無ヲ記スヘシ
台北城内	明治四十年八月十七日午後十時三十七分五秒	八分四十三秒		微一人体感ス	上下動ノ痕跡ヲ有テモ声響ナシ性質急
地動ニ感セシ地名ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、壁響ノ有無ヲ記スヘシ

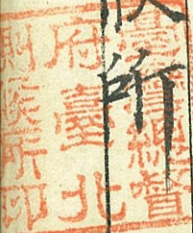
明治四十年
第一一號

報告者住所姓名
國郡町村
台北番地測候所臺

地震報告

明治 40 年 第 2 號

地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ	北東東南西南西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモルヲ入記	
台北城内	明治四十年八月十九日午後七時四分三三秒	十三分五十五秒	1	弱震(震度弱キ方)	上下動ヲ有ルモ声響著ナシ性質急	地動計觀測 初期微動九秒 主要動一分二十六秒終期微動十三分三秒 最大振幅ハ主要動ノ初ヨリオホ波目ニ元々東ヨリ西ニ向テ二四秒ヲ示シ其平均周期ハ二秒ナリ	國郡村町 台北番地 地測候所



地震報告

明治四十年 第一三號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

台北城内

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

四十年十二月廿午前零時零分五秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マデノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分四十秒

震動方向
北北東、東、南東、南、南西、西北、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

1

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微震(人休感ス)

震動性質
水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動ヲ有スルモ声響無シ性質急

雜記

前項ニ洩シタルモノ
ノ入記

地動計観測

初期微動上秋 主要動五三秒 終期微動一五三六秒
最大振幅ニ主要動ノ初ヨリ欠三波目ニ至テ西ノ東ニ向テ〇三
秒ヲ示シ其平均週期二三秒アリ

報告者住所姓名

國

郡

町

番地

地震報告

明治四十年 第一四號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
台北城内

震動年月日時 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
四時半上旬午前七時三十分至五秒

震動時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
十二分二十五秒(地動計ニ依ル)

震動方向 北北東、東、南東、南、南西、西、北西、北ノ八方位ニ分記スヘシ
北東、南西

震動強弱 微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ
弱(震度強方)

震動性質 水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ
上下動アリ、聲響ナシ

雜記 前項ニ洩タルモノモルヲナシヘシ入記
性急ニ微動ニ始リ、發震時ヨリ十秒ヲ經テ主要動ニ移リ、同時、水平動、北東ヨリ南西向テ全週期一二秒、全振幅三、五、最大ニ達シ、而シテ速度四、五、十秒、發震時ヨリ五秒ノ後、全週期一二秒、最大ヨリテ主要動、繼續時間、約一分十秒アリ

報告者住所姓名

國郡

町村

番地

臺北測候所

地震報告

明治四十一年 第一九號

報告者住所姓名	地名		年月日時及分秒ヲ記スヘシ標準時	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記 前項ニ洩タルモノヲ入シ
	地震ニ感ゼシ地名ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ標準時						
國郡村町	臺北城內	九月十八日午後五時七分八秒	二分十秒 (地動計ニ如シ)	一	微(人體ニ感覺アリ)	上下動並ニ聲響ナシ性質急		

臺北府臺北測候所印

臺灣總督

明治四十年 第二〇號

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

台北城內

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

十一月九日午後十一時。分五十五秒

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

四分三十五秒（地動計）

北、北東、東、南東、南、南西、西、北西ノ八方位ニ分記スヘシ

1

微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微（人休感覚アリ）

水平動、上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動花二声知音ヤシ

地動詩

地動計ニ於テハ性質急光細微、波動ヲ觀測ス

前項二洩タルモルチノ
記入スヘシ

報告者住所姓名



郡

村町

番地

臺北測候所



震
第
五
三
九
号

十月九日報告第二〇号ハ第二号ハ前記白紙下ハ其

地震報告 明治四十年 第二〇 號

地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北東東南西南西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動壁壓ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモルヲノシヘシ入記	
臺北城內	十月二十九日午後六時四十三分。五秒	十八分三秒(地震計ニ依ル)	1	微(人体ニ感覺ナシ)	上下動ニシテ音アリ	地動計觀測 初期微動 主要動 終期微動 ニテ五秒 七分七秒 最大振幅只九秒 十分四秒	國 郡 村 町 番地

臺灣總督府臺北測候所印